

# イタリア家具産業界に復興の兆し!?

デザイナー中心ではなく、家具メーカーによる展覧会で目立っていたものは、工場や駅など意外な場所で趣向を凝らした展覧会を行ったメーカーたち。

電機メーカーの工場のフロアを借りて、大規模な展覧会を行ったのはカッペリーニ社。前出のマンジャロッティをはじめ20人以上のデザイナーによる大量の新作を並べ、他社を圧倒する元気をを見せていた。オープニングパーティには、今年のトレンドをいち早くチェックしようとする人、数千人が集まり、その盛り上がりはすさまじいものがあった。

オーデオ機器メーカーのバンク&オルフセン社は、大きな屋敷の中庭にアーティストティックな巨大なインスタレーション

ョンを構成。新作のテレビやスピーカーを紹介するよりも、アートの展覧会を楽しんでもらおうといった印象で、会社の文化的な貢献度をアピールした。

チェコッティ・コレツィオーニ社は、普段一般の人は絶対入れない、ミラノ中央駅の王侯専用待合室で展覧会を企画。そんなことを許してしまう、ミラノの街のデザインに対する寛容さに驚かされる。

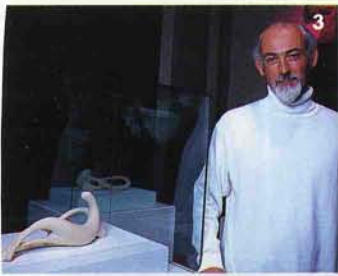
本会場で目立ったのはフルー社。新作のベッドが所狭しと並んだブースで、匠デザイナーのヴィニコ・マジストレッティと出会えた。イタリア工業家具協会会長を兼任するメッシーナ社長は言う。「ようやく家具産業界にも元気が戻ってきた。今年のサローネを見ればわかります」

## ceccotti COLLEZIONI

チェコッティ・コレツィオーニ



ミラノ中央駅構内の王侯専用待合室で、展覧会「Touch Wood」を開催。伊チェコッティ社の木を加工する技術を用いて実験的な作品を制作した。1、3 ロス・ラヴグロヴと木の彫刻「Biowood (3種類ある)」。2 王侯専用待合室の展覧会の様子。手前はロベルト・ラツェローニとスクリーン「Untitled」。4、5 楽器家具「Drumming for Creation」とフランチェスコ・マリア・アンドレネリ (以上 伊チェコッティ・コレツィオーニ)。



ELLEDECO . n. 48 . GIUGNO 2000 .



## Flou

フルー

ヴィニコ・マジストレッティとロザリオ・メッシーナ社長は「無駄をなくして、少しでも仕事を減らそう」といつも話し合っているそう。6 本会場での展示の様子。7 ベッド「Nathalie」に腰掛けたマジストレッティ (左) とメッシーナ社長。8 オットマンのシリーズ「Cubo/Box/Square」。9 ロドルフォ・ドルドーニによるベッド「Marettimo」。10 マジストレッティによるベッド「Vanja」 (以上 伊 エスティック東京ショールーム)。

